

大良小学校伝統の「和紙づくり」

令和2年12月22日

本校ではこれまで、児童自身が作った和紙で自分だけの卒業証書をもってきました。長年、指導をして下さっていた吉田 孚先生のご尽力によるものですが、先生もご高齢になり、そろそろ引退を考えておられました。しかし、その取組を絶やすのはもったいないと、地域の有志の皆さんが立ちあがり、「まこと会」を結成。その技を伝授していただきました。試行錯誤ではありましたが、何とか製作工程を覚えてもらって、第一号の和紙が完成しました。

出来栄は…？

私も、仲間に入れてもらい一緒に作りましたが、なかなか難しく満足いく仕上がりとはいきませんでした。貴重な体験をさせていただき、まこと会のみなさんと楽しいひとときを過ごさせてもらいました。感謝。まこと会の皆さんも、「今度は、もっと上手に作るばい。」

と次回の取組に意欲を見せておられました。

大良の皆さんは、学校に大変協力的です。子どもたちのことをいつも温かく見守ってくださいます。そのような環境だからこそ、子どもたちにも自然と感謝の心が育っているのだということ、いつも感じています。ありがとうございます。



【 10月 こうぞの木を蒸しました 】



【 表皮をはがし、たたきました 】



【 すげたで、すきました 】



【 1枚1枚、慎重に… 】



【 ストープで乾燥させます 】



【 「まこと会」のメンバーで記念撮影 】

試作第1号は、まずまずの出来でした。地道な作業が続きましたが、先人たちの苦勞と技術の高さに思いを馳せました。2作目は、もっと上達することでしょう…。子どもたちに伝えていきます。